

生活環境

主な事業と予算額 (単位:万円)

○準幹線排水路、市街地側溝整備	3,200
○道路舗装改良、排水路等整備	14,295
○交通安全施設等整備 (歩道整備等)	6,140
○菱湯新田田尾線道路改良整備	1,050
○小蔵子白蓮線道路改良整備	14,500
○古川下八枚線道路改良整備	2,000
○農村基盤総合整備事業	4,781
○ほ場関連農道整備事業負担金	7,197
○県営地盤沈下対策事業負担金	7,500
○水環境整備事業計画作成委託	300
○土地改良施設維持管理適正化事業	4,097
○大外環状道路整備推進協議会負担金	291



工事が進む白井バイパス

道路整備を促進

市民の皆さんの要望が最も多い道路整備。市民生活の向上と都市の活性化のため、躍進する市の動脈として、今年度も引き続き整備に全力を注ぎます。

▽国道 都市計画道路として計画決定した国道8号の四車線化。今後とも引き続き関係者の皆さんの理解と協力をいただき、関係機関と連携を取りながら事業促進に努力していきます。

▽県道 白井バイパスは、今年度部分開通を予定。白根バイパスは、未整備区間の早期事業化に向け努力します。小須戸橋の暫定歩道橋建設をはじめ、白井橋等橋りょう整備事業、歩道の新設、道路改良など、継続して実施している各種県営事業の促進と早期完了に努めます。

新潟地域大外環状道路整備を推進します。この計画は、新潟市とそれに隣接する市町村を有機的に結ぶ、環状幹線道路を構想するもの。昨年八月には、関係八市町村で推進協議会(会長「滝沢市長」)を設置。構想路線の具体化を図るため、調査に必要な負担金を計上しました。

▽市道 県道白井バイパスの部分開通に併せ、小蔵子白蓮線の改良整備を推進します。茨曾根、免新田線の交通安全施設整備、

排水改良事業を検討

排水対策を促進します。白根郷内の排水は、全量を機械排水に頼っています。しかし、水田転作による畑地化や宅地開発などの排水処理に対応する機能が十分ではありません。国営土地改良事業白根郷地区調査が終了したことから、国・県、関係団体と協議しながら国営農地防災事業、県営地盤沈下対策事業などを組み合わせた、白根郷の排水改良事業の検討を進めます。

水環境整備構想を作成

四季の自然景観を映し出す美しい水辺環境を保全・創造するため、水環境整備構想を作成します。従来の水路や農業水利施設は、生産機能を重視し建設されてきました。この構想は生産機能を保持しながら、人と水とのかかわり合いを取り戻し、水に親しめるような景観の整備を進めるものです。

下水道基本計画を作成

下水道は三年度に策定した下

幹線八号の歩道整備の年度内完了に努めます。また、菱湯新田田尾線、古川下八枚線の下八枚地内の改良整備に着手します。

テニスコート建設に着手

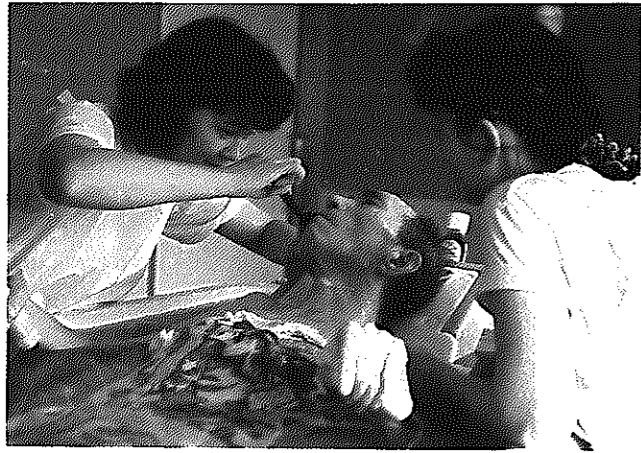
白根総合公園は、催し物広場に設置した野外ステージの工事などで、第一次事業認可が終了。今年度はテニスコートの実施設計の作成を行います。五年度に国の補助を受け、建設に着手する予定です。今後は、より効率のよい補助事業などを選択しながら、全体の整備を図ります。

交通安全対策と火災予防を徹底

車社会の進展を考え、関係機関・団体と連携し、交通安全の徹底を呼び掛けます。交通環境の変化に対応した安全施設整備、安全思想の普及を図ります。

火災予防を徹底し、火災発生の減少に努めます。今年度も引き続き消防機械器具の整備計画に基づき、小型動力ポンプの更新、ポンプ舎の改築、消防水利施設の整備を進めます。また、防災活動の円滑化を図るため、地域住民の参加と協力を得て、県と市の主催による総合防災訓練を九月に実施します。

福祉・保健



デイ・サービスセンター

主な事業と予算額 (単位:万円)

○デイ・サービスセンター運営管理委託	2,529
○緊急通報装置設置事業 (委託)	181
○老人等家庭奉仕員の派遣 (委託)	2,329
○特別養護老人ホーム建設事業負担金	2,034
○心身障害者福祉タクシー助成事業	208
○あけぼの作業所開設 (精神障害者の社会復帰支援事業)	292
○成人病予防対策事業費	4,223
○健康づくり推進事業	228
○社会福祉協議会補助金	448

福祉

住民意識、生活様式、家族形態の変化などにより、福祉へのニーズは多様化しています。健康で文化的な生活を送るための条件整備を進め、国・県の福祉施策を補完しながら、本市の実状に合わせた施策を推進します。

高齢者福祉を充実

高齢者福祉の充実のため、在宅福祉サービスの向上に努めます。デイ・サービスセンター1ヵ月圏は、事業実施体制を整備し一層の活用を促進。介護が必要な老人の健康福祉の充実のため、家庭奉仕員の訪問活動事業に力を入れます。また、一人暮らし老人のために、緊急通報装置設置事業を進めます。

児童の健全育成に努力

婦人の社会参加意欲の増大などにより、乳幼児保育に対する期待は高まっています。就学前教育の普及や、労働形態の多様化に対応した延長保育などに配慮します。保育環境の整備を図り、児童の健全育成と福祉の向上に努めます。

一人親家庭などの保健と福祉の向上を図るため、医療費助成

事業を継続的に実施し、相談体制の整備を進めます。

福祉タクシー制度を実施

障害を持つ人のために、重度心身障害者医療費助成、特別障害者手当と特別児童扶養手当などの給付を行います。また、障害者の自立と社会参加を促進するため、タクシー料金の一部を助成する福祉タクシー制度を四月から実施します。

保健

健康は市民共通の願いです。健康で暮らせる長寿社会の実現に向けて努力を怠りなげなければなりません。地域ぐるみの健康づくりに全力を注ぎます。

食生活改善指導を実施

成人病予防対策の充実を進めます。成人病の予防は若いころからの健康的な生活習慣の確立が重要です。バランスの取れた栄養、適度な運動、十分な休養を内容とする生活習慣を、市民一人ひとりの中に定着させる健康教育を強化します。特に栄養対策は、全県で食生活改善指導会の実施を目指します。

また、壮年期のがん、脳卒中、

心臓病の三大成人病の低減と、激増している糖尿病患者や寝たきり者の減少を計画的に実現するため、集団検診をさらに高めます。基本健康診断では、新たにアルコールによる肝機能障害検査など四項目を追加。市独自の糖尿病検査も引き続き行い、予防活動に全力を尽くします。

通所作業所「あけぼの」開設

精神障害者の自立と社会復帰に向け、通所作業所「あけぼの」を保健センター内に開設し、社会復帰の促進を図ります。

母子健康対策は、母子保健計画に基づき、五カ年の実施計画を定めます。計画は母子保健情報の一貫管理体制を目指し、新たな視点で取り組みます。

環境衛生

ごみ処理施設の拡充を進めます。白根衛生センター組合では、ごみ処理施設を三年度から四カ年連続事業で建設。この建設に伴う特別負担金を通常負担金に併せて予算計上しました。

公害のない快適な環境づくりを進めます。環境衛生協会の協力を得ながら、騒音、振動、悪臭などの監視体制を強化し、これらの防止に努めます。